

## 武蔵村山市まちづくり基本方針 第3回策定委員会意見対応表

令和3年11月4日に実施した策定委員会意見の概要とその対応方針は以下の通りです。

項目	意見	対応
人口	・日本全体として夜間人口が減少している状況で、人口が増加するという論理展開をどのように立てるのか。	まち・ひと・しごと創生総合戦略で推計した将来人口と整合を図っており、「出生率向上・出生者数の増加」、「若者の転出抑制」、「子育て世代の転入促進」の3つの取組により人口増加の実現を目指すこととしています。
	・将来人口は、区画整理や都営村山団地の建替え等の計画人口を踏まえた値になっているのか。	素案にも踏まえていることを記載していますが、文章を見直しました。 (P5 (3) 将来人口)
	・昼間人口や交流人口を考慮しているか。	まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載の「伊奈平地区の工業地域の基盤整備を推進し、企業誘致の促進を図る」などの内容を分野別方針に記載しました。(P60) 地域別構想の駅周辺のまちづくりの方向性などの部分で記載を検討します。
まちづくりの課題・目標	・カーボンニュートラルの話を入れなくていいのか。	社会・経済情勢の変化の項目の中で追記しました。(P8 (3) 食料・水・エネルギーの制約、地球環境問題とSDGsの取組)
	・市の財産である狭山丘陵や歴史的環境の保全等について記載しないのか。	自然環境の保全について文章を追記しました。(P24 課題3を追記)
	・まちづくりの課題から方向性、目標へのつながりがわかりにくい。	参考資料1を作成し、整理しました。
	・課題に高齢化についての記載があるため、まちづくりの方向性にも示した方がいいのではないのか。	まちづくりの方向性に高齢者に関する内容を追記しました。 (P28 方向性2に記載)
	・まちづくりの目標に、幸福度が見えるようにしてほしい	イラスト等の追加について、最終レイアウト等を考慮しながら検討します。
将来都市構造	・都市軸、都市核・サブ核だけでなく、市の財産であるみどりをどのようにつなぐのか検討してほしい。	みどりに関する位置づけとして、 「核」 大規模公園・緑地(3ha以上)、 「軸」 残堀川・空堀川、野山北公園自転車道、残堀川自転車道、保谷・狭山自然公園自転車道(多摩湖自転車歩行者道)、 「ゾーン」 狭山丘陵を位置付けています。 みどりや水の軸に矢印を加えました。
	・サブ核に2駅と4駅を入れなくてよいのか。何も施策等行わないように捉えられてしまうのではないのか。	憩いの核として都市構造に記載しました。 (P34 将来都市構造「核」) 地域別構想の中で、まちづくりの方向性等について記載を検討します。

項目	意見	対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来都市構造と3地域区分がわかるような説明が欲しい。</li> </ul>	<p>将来都市構造の軸に南北方向の都市計画道路を追記し、強調しました。</p> <p>3地域区分については、今後の地域別構想にて具体的な説明を記載していきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーンと地域区分の関係性がわかりにくい。</li> </ul>	<p>ゾーンではなく、都市核・サブ核を中心に3つの地域に区分しています。</p>
分野別方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレールの駅ができると南北の人の移動が想定される。これらの歩道の整備について具体的に示されていないが、どうするのか。</li> </ul>	<p>地域別構想において具体的な記載を検討します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核や軸に対して方針が紐づいていることが見えるとよい。</li> </ul>	<p>方向性の表現を見直し、核や軸において文章の修正を行いました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別方針の都市計画課以外の内容が薄いように感じる。例えば都市基盤や観光の部分など。</li> </ul>	<p>分野別方針の記載の内容について12月に行った各課照会を基に、文言修正を行いました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレール駅周辺の整備だけでなく、路線バス等のバス待ち環境について検討してほしい。</li> </ul>	<p>駅周辺の具体的な整備について決まっていないため、次回の改定も見据え検討します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域の開発の扱いについて都市マスで位置付けた方がよい。</li> </ul>	<p>土地利用の方針に追記しました。 (P40 (2)丘陵地・農地の保全)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレール延伸後のバスルートについて、再編について記載した方がよい。</li> </ul>	<p>関係各課と調整を行い、記載を見直しました。 (P45 (4)モノレールなど公共交通機関の充実 ■市内公共交通の充実)</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画や景観計画の策定等について記載することを検討してほしい。</li> </ul>	<p>今後の課題として記載を検討します。 (P45 (4)モノレールなど公共交通機関の充実 ■市内公共交通の充実)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソントリップ調査等確認し、目的別自動車分担率等からモノレール建設後の利用者数を把握してはどうか。</li> </ul>	<p>市内外の現況値を確認し、今後の参考とします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の方に説明する際は、モノレール駅から半径500mを徒歩圏としている理由や駅を中心としたまちづくりについて説明したほうがよい。</li> </ul>	<p>駅勢圏500mの根拠は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省 都市構造評価ハンドブック (P10) 高齢者徒歩圏500m</li> <li>・国交省 都市再構築戦略事業の事業要件 バス・軌道の停留所から半径500m</li> </ul>